

市民集会in京都

未来の食卓は



どうなるの？

ゲノム編集魚

を考える



Panelist

印 鑰 智 哉

天 笠 啓 祐

河 田 昌 東

Special Talk

安 田 節 子

松 平 尚 也

基調講演

「ゲノム編集食品は未来の食卓をどう変えるのか」

会場:ひと・まち交流館 京都(大会議室)

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

参加費

オンライン、サテライト 参加も出来ます！
詳細、参加申込は 公式HPをご覧ください。

¥500

<https://yoccola.wixsite.com/no-genomeeditingfish>



2023

9/23

土

13:00~16:00



12:30 開場
 13:00 開会あいさつ
 13:05 第1部 基調講演
 「ゲノム編集食品は未来の食卓をどう変えるのか」
 講師 安田節子

13:50 第2部 トークセッション
 「ゲノム編集魚の何が問題か」
 天笠啓祐 河田昌東

14:35 第3部 パネルディスカッション
 「ふるさと納税返礼品にゲノム編集トラフグ」
 印鑰智哉 松平尚也 NOCO

15:10 質疑応答
 15:40 漁業者からのアピール
 15:55 閉会あいさつ
 16:00 終了



講師 パネリストの ご紹介

安田節子 (やすだ・せつこ)

食政策センターVision21主宰。日本消費者連盟で反原発運動、食の安全と食糧農業問題を担当した後、市民団体「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」事務局長を務め、2000年食政策センターVision21設立。NPO法人日本有機農業研究会理事。

河田昌東 (かわた・まさはる)

分子生物学者。専門分野は遺伝情報解読機構の研究及び環境科学。かつて名古屋大学で遺伝子組み換え技術の研究に取り組む一方、当初からその危険性を世に問い続けてきた。ゲノム編集についても海外の論文を基にその問題点について情報を発信している。遺伝子組換え情報室代表。

天笠啓祐 (あまがさ・けいすけ)

科学ジャーナリスト。雑誌「技術と人間」の編集者を経て、1993年に独立。1996年、遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン設立に参加し、現在同キャンペーン代表。市民バイオテクノロジー情報室代表。日本消費者連盟顧問。

印鑰智哉 (いんやく・ともや)

OKシードプロジェクト事務局長。アジア太平洋資料センター (PARC) ブラジル社会経済分析研究所 (IBASE)、Greenpeace、オルター・トレード・ジャパン政策室室長を経て、現在はフリーの立場で世界の食と農の問題を追っている。

松平尚也 (まつだいら・なおや)

2005年より京都で15年間有機農業を实践。伝統野菜中心の宅配事業を行う。農・食・地域の未来を視点に情報発信する農業ジャーナリスト。龍谷大学農学部兼任講師。グローバルな食料問題に取り組むNPO法人AM ネット代表理事。2021年から滋賀に移住し近江八幡の干拓地を耕している。

NOCO (いぐち・のこ)

日本の島々 アジア諸国を旅しながら素潜りしまくり、宮津の海が世界一！と移住。念願の遊漁船 船長になった矢先 ゲノム編集陸上養殖施設がすぐそばに！自然農を営む矢野と市民グループ麦のね宙ふねっとワークを結成し、ゲノム編集トラフグのふるさと納税返礼品からの取り下げを求め、麦の根運動を展開中。

いま、ゲノム編集によって遺伝子操作された食品が日本だけで流通、私たちの食卓に登場し、国内で流通している三種類のゲノム編集食品のうち、二種類は魚(マダイとトラフグ)です。いままで遺伝子組み換えで改造した魚は、日本でも食品として流通したことはありません。ゲノム編集食品は、遺伝子組み換え食品と同様、あるいはそれ以上の危険性を持ちながら、政府は食べて安全かどうかの評価も、表示も必要ないとしています。ゲノム編集魚がもし逃げ出し、生態系に入り込んだら何が起こるのか全く予測が付きません。この魚を開発し、養殖・販売している京都大学のベンチャー企業リージョナルフィッシュ社は、不安の声や質問などに応えようとせず、危険性を軽視しています。養殖場があるのは、日本三景の一つ、天橋立があり豊かな漁場で沢山の美味しい地魚が獲れる京都府宮津市です。こともあろうか宮津市はゲノム編集トラフグを「ふるさと納税返礼品」に採用しました。それに対し地元市民が取り消しを求めているにもかかわらず、市は聞く耳を持ちません。ゲノム編集魚は、このように徐々に私たちの身近な食卓に及ぼうとしています。しかも表示はなく、私たち消費者に選択権はありません。私たちは、リージョナルフィッシュ社に対してゲノム編集魚の開発・養殖の中止を求め、宮津市にふるさと納税の返礼品からの取り下げを求めています。さらに、漁業関係者とも連携し陸上養殖を中止させたいと考えています。そこで今回、ゲノム編集魚が開発・養殖されている京都での集会を企画しました。未来の食卓を守るため、ぜひこの集会にご参加ください！



この市民集会への賛同

(個人・団体) を募集しています。

賛同金は不要です。公式HPからお申し込みください

参加費500円とカンパの振込先 (会場・オンライン)

郵便振替 00100-5-727877

(他行からのお振込：ゆうちょ銀行 019店 当座 0727877番)

口座名 遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

お問い合わせ

メール：gefisch_kyoto@nishoren.org

電話：03-5155-4765 (月/水/金のみ)

FAX：03-5155-4767

住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19-207

日本消費者連盟

主催：ゲノム編集魚を考える市民集会 in 京都実行委員会

呼びかけ団体：遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

OKシードプロジェクト

日本消費者連盟

宮津 麦のね宙ふねっとワーク